



2017年5月吉日

特定非営利活動法人
ジャパン・タスクフォース
関係者各位

特定非営利活動法人
ジャパントスク・フォース
代表理事 宮島 志織

2017年 JTF イベントのご案内

薫風の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、2017年 JTF のイベントを下記のとおり開催いたします。

ご多用の折とは存じますが、ご参加を希望される方は申し込みフォームよりお申し込みいただきますようお願いいたします。

記

- ・日 時 2017年6月24日（土曜日）9時30分受付、10時開始
- ・場 所 兵庫県三木市 コープこうべ協同学苑 ※当日、フロントにて掲示
所在地 兵庫県三木市志染町青山7丁目1-4 TEL (0794)85-5500
- ・内 容 『災害時の支援のあり方について』 ※詳細は別紙で紹介します。

1部	『熊本地震時の支援について』 ～ 救助者として、被災者として、本当に必要としている支援とは ～ Presenter：熊本県 消防職員 小木曾 昭 氏
2部	『建物倒壊の軽減について』 ～ 支柱作製（ショアリング）とPPバンドの可能性について ～ Presenter：ZENKON-nex 建築家 齊藤 正 氏
3部	『JTF 災害支援活動報告』 ～ これまでの活動を振り返る ～ Presenter：JTF 事務局

- ・参加について 50名程度 参加費：会員4,000円 非会員6,000円
（*定員に達した時点で締め切らせていただきます。）
- ・参加フォーム <http://my.formman.com/form/pc/uhjE6fdhyjsPbIYW/>
締切6月9日までとさせていただきます。
- ・宿泊について 各自、「コープこうべ協同学苑」にて予約をしてください。
※予約時に JTF 関係者と必ずお伝えください。TEL (0794)85-5500
- ・その他 2017年 JTF イベントについてのご質問などは、JTF 本部まで
メールにてお問い合わせください。

JTF 本部 itf@jp-tf.org

以上

2017年 JTF イベントの詳細
『災害時の支援のあり方について』

JTFを発足してから、「東日本大震災」をはじめ昨年発生した「熊本地震」等の各種災害にさまざまな支援活動を行ってきました。

その活動をとおして様々な課題に直面し、考えを改めさせられたことがあります。災害救助技術の導入として参考にしている米国US&Rの技術の実用性、被災地での支援活動など、実際に現場を体験して知り得ることがありました。これまでの体験を集約し、“経験”となるように皆様と意見を交えながら、今後の支援活動の参考にできればと考え企画いたします。

《内 容》

- 【1 部】 『熊本地震時の支援について』 10:00～11:30
～ 救助者として、被災者として、本当に必要としている支援とは ～
: Presenter 熊本県 消防職員 小木曾 昭 氏

[補足]

皆様の管轄で災害が発生した際、数日間は昼夜を問わずに活動を行われるでしょう。災害活動は消防の目的（消防法第1条）でもありますし、消防としての使命とも言えます。

昨年の熊本地震でも、ご自身が被災されただけでなく、消防士として被災者救助を行われた仲間がいました。そのときの体験を共有し、「活動時の問題点は？」、「被災にあった消防庁舎での生活の課題は？」、「本当に助かった、必要だった支援物資とは？」、さらに、「被災にあった家、家族（幼子を含む）を残したままの活動しなければならない課題は？」など、消防人として、被災者として、家族を守る者としての葛藤を紹介していただき、被災者が本当に必要だと思っている支援について私たちができることなどの意見交換をしたいと考えています。

- 【2 部】 『建物倒壊の軽減について』 13:00～14:30
～ 支柱作製（ショアリング）とPPバンドの可能性について ～
: Presenter ZENKON-nex 建築家 齊藤 正 氏

[補足]

熊本地震の支援活動中、ある団体と知り合う機会がありました。その団体は、建物の危険度応急判定士が、“赤”、“黄色”と判定された建物を再評価し、応急的な施工を加えることにより建物内で一時的に生活できるように支援を考えられていました。建物が倒壊していなくても、傾いていれば“赤”となり、建物内への進入は基本的にできなくなります。家主にとっては、まだ使用できる家財道具などが残っていますが、余震が多いときには数分間隔で発生する状況では建物内に易々とは入

れません。そのようなジレンマを少しでも解消しようと四国から駆け付けてくれていました。施工方法をうかがっているうちに、その方法の根幹は、私たちが参考にしているUS&Rの“ショアリング”の概念と一致するのではという思いが生じました。是非とも参考にしたいと考え、共同で施工を行いました。今回は、その施工に際に使用された「PPバンド」とその施工要領、施工の効果などを紹介していただき、救助活動時の応用への可能性を皆様と考えたいと思います。

【3 部】 『JTF 災害支援活動報告』 14:50～16:00

～ これまでの活動を振り返る ～

: Presenter JTF 事務局

[補足]

これまでのJTFの支援活動を振り返り、現地の活動で感じた課題を皆様に提示し、今後の活動の一助にできればと考えています。

【懇親会】 17:30～ 会場 コープこうべ協同学苑 会費 4,000円

【その他】 ・2017年JTFイベントについてのご質問などは、JTF本部までメールにてお問い合わせください。JTF本部 jtf@jp-tf.org
・翌日25日に、同会場で2017年JTF総会を開催します。活動会員の皆様は、別添「2017年総会案内書」をご覧ください、お気軽に参加ください。

以上